

「竜」の線刻土器 弥生時代(約1800年前)

南さつま市・諏訪前遺跡

(随時掲載)



天空をかける「竜」を想像しながら見てください。うねる胴体やしっぽ、風になびく手足のようなヒレが土器の表面に描かれています。竜の絵は、何を物語っているのでしょうか。(県立埋蔵文化財センター)